

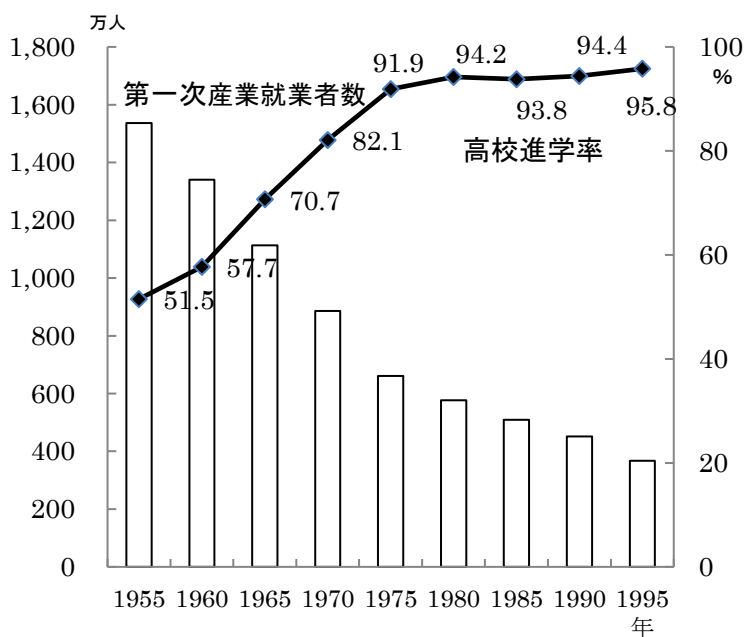
## ライフコースⅠ 人生目標の変化

### 1 1947年 教育基本法 公布・施行

第一条（教育の目的） 教育は、人格の完成を目指し、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたっとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。

### 2 1950年代 貧困と学校教育

図1 第一次産業就業者数と高校進学率



出典：文部科学省  
「学校基本調査」より作成

1950年代 およそ半数の人が高校に進学しなかった理由はなんだと思いますか？  
映像資料や下記新聞の投書欄などから考えてみてください

「十九歳の貧しい夜間高校生、事情で勤めをやめ兄の仕事、大工を手伝っていますが、兄は突然、経済的な問題を理由に、退学して大工の仕事一本でやってくれ、といます。わたしはどうしても学校を続けたいのですが、家では兄や親の反対を押し切ってまで学校へ行きたいのなら、この家を出て自活しろ、といます」。(『読売新聞』1951.9.4)

3 高度経済成長期：教育を基軸にした新しい階層秩序の形成

- ・ 農民から会社員、労働者へ 参考 図1

「高校はこれからの人間にとって普通教育だ、親は時代からおくれた人間だ、経済が許せば子どもは全部(6人)高校へやりたい。高校さえ出しておけば、就職その他は本人が自分のいいようにしてく。普通教育だからそこまでやれば何とかなる、この暮らしから抜け出せるだろう」

「多少頭が悪くても高校を出たら近所で通勤できる(安定兼業)ところがあるだろう。今だから高校位は出ていなければあまりいい職業もないので次の子まではわからないが長男は高校へ」

伊藤三次「京葉工業地帯調査中間報告(一)新規学卒者の就業問題—変貌家庭にある千葉県の実体—」『社会科学研究』東京大学社会科学研究所紀要、14巻6号、1963より

→新しい階層秩序の形成

学歴によって社会的な地位が決まる

- ・ メリトクラシーの浸透

「何であるか」ではなく、「何ができるか」によって、地位や報酬の分配が決まる仕組み

=戦後教育のひとつの理想

↓ところが

4 学歴信仰：「いい学校→いい会社→豊かな生活」

- ① 「〔就職したものの、やはり〕大学にいきたい」という悩みに対して

「もし友達がみな大学にゆくから自分も学問を好きなわけでもないがゆかなければ恥ずかしいと考えるとすれば、それは虚栄というもので決してよいことではありません〔が…〕日本の現状では実力よりも学歴で曲がりなりでも大学を出ていないと信用されないということがあります。〔…〕もしあなたが〔…〕よい成績を経ていたならここで借金もし、親の田畑を売り払ってでも大学を出るといふ冒険をする価値はあります」(『読売新聞』1962.6.1回答、木々高太郎)

- ② 「やさしく誠実で、明るい人ですが、高卒で中小企業の社員、財産もない彼」との結婚に悩む  
27歳の女性(『読売新聞』1983.6.2)

- ③ 「彼は中卒〔…〕私は短大卒〔…〕両親はもちろん〔結婚に〕大反対」(『読売新聞』1983.11.4)

5 受験競争の弊害と学歴信仰への懐疑

- ・ 受験競争の弊害 1980年代半ば～  
授業についていけない子ども（「落ちこぼれ」）  
校内暴力、いじめの問題化  
文部省による管理強化の通達→管理教育・校則による縛り付け

- ・ 学歴信仰への懐疑

① 「学歴のルールはずれると… 福岡県《女性・17歳・高校生》（『朝日新聞』2004.3.30）

私は「どうして大学受験したんだろう」と後悔しています。学校が怖いのです。〔…〕私には一通過点に過ぎない学校という存在ですが、行けなかった母や自分で行った父には申し訳ない気がする。割のいい仕事につくためには学歴が必要なのです。胸がしめつけられるように緊張する。ルールからはずれたらそこは酸素のない宇宙のような気がして」。

② 「学業成績が優れていることと、人間的に優れていることとは、直接には関係ない」

（『読売新聞』1998.6.25「母や弟に見下した言葉」という悩みへの回答、三木善彦）

学業成績が優れている ⇨ 人間的に優れている

「いい学校、いい会社」（画一主義）から「それぞれの人生目標」（個性主義）へ

社会学 classroom

<https://classroom.google.com/c/NDcyMDIyMzY5MTIx?cjc=rc2jl2w>

クラスコード rc2jl2w

今回の課題

classroomにformのリンクが貼ってあります。Classroomに入ってから提出してください。

ポイント

- 高度経済成長期に新しい階層秩序ができあがった。
- メリトクラシーとは業績＝能力に基づく分配の仕組みである。

図2 一生懸命勉強すれば、将来よい暮らしができるようになる

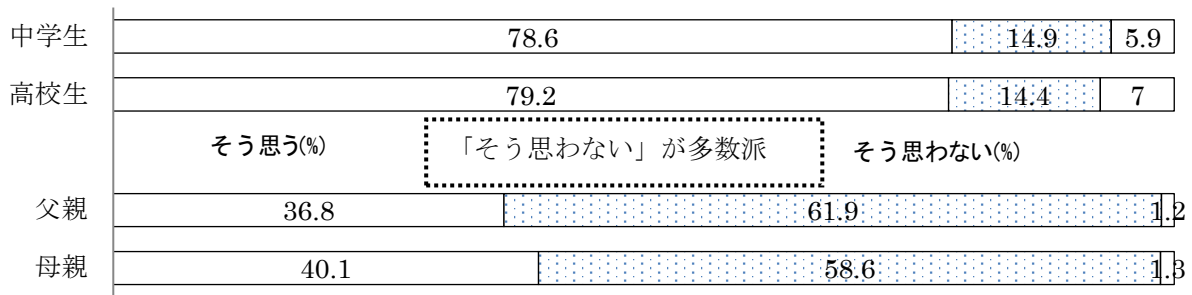


図3 受験勉強は、よい学校に行くためだけで、本当の勉強とは言えない

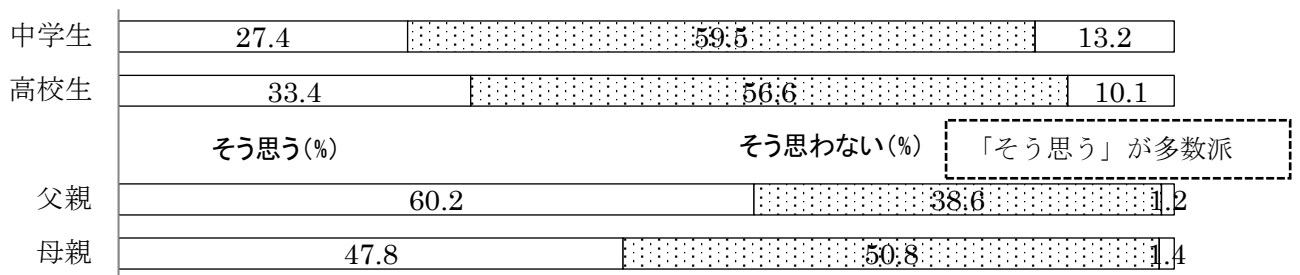


図4 中学生の競争意識

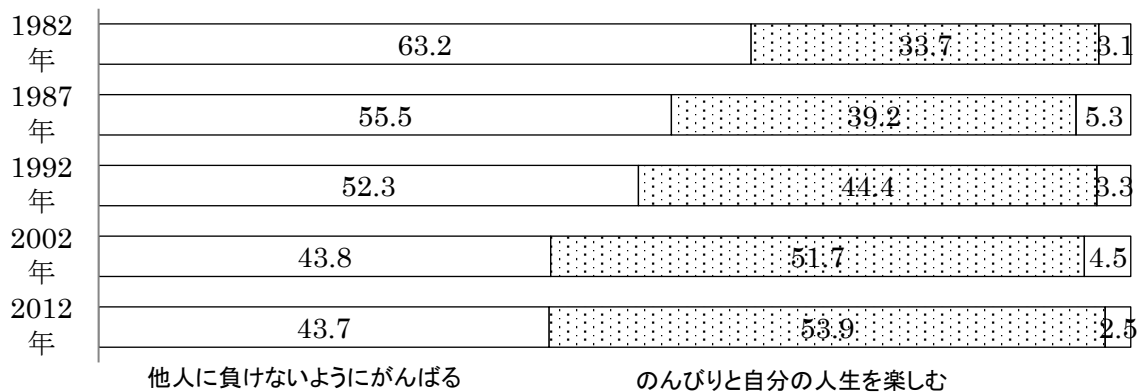
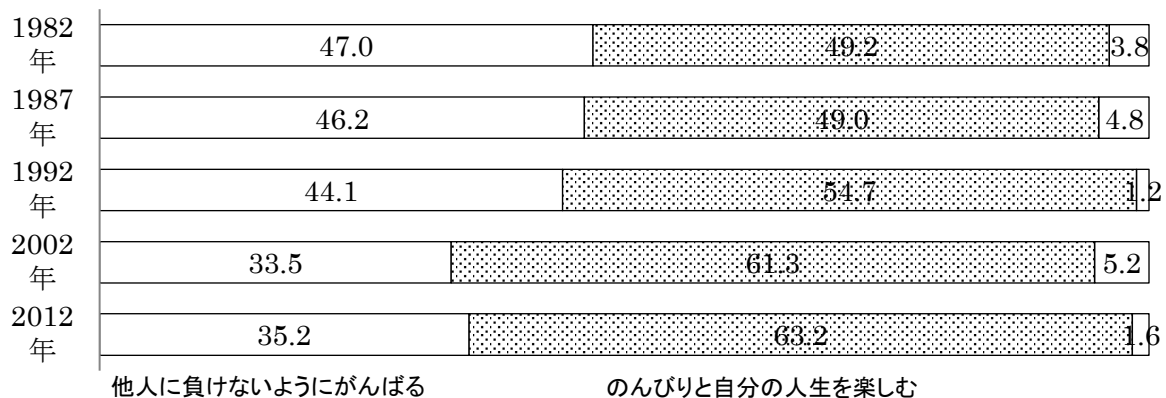


図5 高校生の競争意識



出典：NHK 放送文化研究所「中学生・高校生の生活と意識調査・2012」より作成